町の無料相談

相談種類	日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ	
法律相談	弁護士	3/11(火)、3/24(月) 4/8(火)、4/28(月)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313 (要予約)
	行政書士	3/19(水)、4/16(水)	10:00~15:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313
人権・行政相談	3/13(木)、4/10(木)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313	
成人健康相談	4/9(水)	10:00~11:00	役場1階町民ホール	保健センター ☎294-5511	
	3/6(木)	10:00~11:00	保健センター		
電話健康相談	平日	9:00~17:00	保健センター ☎294-5511		
育児ほっと相談室	3/19(水)、4/16(水)	10:00~11:00	保健センター	保健センター ☎294-5511	
もの忘れ相談会	毎月第3木曜日	10:00~12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎295-2112 ④126	
子育て相談 なんでも話してみよう	平日 ※オンライン相談あり	10:00~15:00	役場相談室 子育て支援センター	子育て支援センター ☎294-4820 (要予約)	
教育相談	平日	10:00~16:30	教育センター ☎295-2525	(電話相談可)	
心配ごと相談	平日	8:30~17:00	社会福祉協議会(毛呂山町川角303-3) ☎295-0601		
消費生活相談	毎週月・火曜日	10:00~15:00	役場相談室	役場産業振興課	
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外	平日	8:30~17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (社会福祉協議会内) ☎080-2274-1445		

歴史散歩!

第369回

春のやぶさめの謎

~なぜ春にやぶさめを行うのか~

例年、3月の第2日曜日には、出雲伊波比神社で春のやぶさめが行われます。毎秋11月3日に行われる秋のやぶさめのように乗り子が馬を走らせるのではなく、7歳未満の男子がやぶさめの盛装をして馬にまたがり、大人に介添えされながら、止まったまま的に矢を一回だけ射るものです。これは秋のやぶさめの「願的」だけを行っていると考えられます。春のやぶさめにはいくつもの謎があります。なぜ秋のやぶさめと異なるやぶさめが行われているのか、考えてみましょう。

八幡神社のやぶさめ
出雲伊波比神社にはかつて八幡神社がありました。現在も旧八幡神社の社殿は、出雲伊波比神社に向かって右側に建っています。江戸時代、八幡神社では8月15日にやぶさめが行われていました。どのようなやぶさめだったのか詳細はわかりませんが「朝日が昇るころに行われていた」という記録があります。朝に行うやぶさめと言えは秋のやぶさめの「朝的」が思い起こされます。「朝的」は八

幡神社で早朝に行っていたやぶさめの名残かもしれません。また、8月15日に行われていた八幡神社のやぶさめは明治12年(1879)の記録を最後に、以後は代わって、昭和2年(1927)より同社の春祭りである3月15日にやぶさめが行われたという記録が登場します。このことから2つのやぶさめの内、八幡神社のやぶさめは春祭りとして行われるようになったのではないかと推測されています。

乗り子の年齢
現在、春のやぶさめの乗り子の年齢は7歳未満となっていますが、八幡神社のやぶさめを踏襲したものとすると、明治12年までの八幡神社のやぶさめの乗り子は何歳ぐらいだったのでしょうか。天明8年(1788)に現在の平山の乗り子となった「斉藤龍治郎」の年齢が10歳だったことがわかっています。もし、10歳前後の幼い子どもを乗り子とする慣習があったとすれば、現在の春のやぶさめと同様、馬を走らせずに的を射る行事だった可能性もあります。

令和6年春のやぶさめの乗り子
参考：内野勝裕著「毛呂の流鏝馬の歴史を探る」(『埼玉史談』57巻3号)